

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	<p>●研究の名称 腎疾患における尿蛋白変動についての後ろ向き観察研究</p> <p>●研究の対象 2012年4月から2025年9月に当院で腎生検を受けられた方。 約100名</p> <p>●研究の目的 腎疾患の原因疾患診断の Golden standard は腎生検ですが、抗凝固薬を内服していること等から腎生検を行えない患者さまが存在します。 その場合適切な治療を選択することが困難となることが予想されます。 これまでに膜性腎症では尿蛋白の変動が大きい症例が存在することは Expert opinion として報告されていますが、一般化はされておらず、他の腎疾患において尿蛋白が変動するかどうかは明らかではありません。 今回、我々は腎疾患および組織所見と尿蛋白変動の関連の有無を評価しその他の臨床パラメータの違いについても評価することを検討しています。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施承認日 から 2026年3月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、バイタルサイン、カルテ番号、病理検体番号 等</p> <p>試料：血液、尿検査、腎生検病理検体</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

●機関名および責任者名 浜松医科大学 生活習慣関連疾患重症化予防医学講座 岩倉考政
浜松医科大学 生活習慣関連疾患重症化予防医学講座 岩倉考政
あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 浜松医科大学 第一内科学講座 担当者： 江間 智映実 TEL： 053-435-2111 E-mail： em@hama-med.ac.jp